

# 授業科目 臨床実習 II (検査・訓練)

【担当教員名】 阿部 春樹 他		対象学年	3	対象学科	視機
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	180
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 一連の眼科検査および訓練の過程を、現場の指導者の指導を得ながら実践することを通して、視能訓練士業務の理解を深める。他職種と良好な人間関係をつくり、連携していく方法を学ぶ。講義や演習・実習で学んだ知識や技術をもとに、実際に病院や施設・機関等の指導・助言を受けながら、より具体的・個別的に視能検査・訓練を実践する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 職業人として、常識的な態度や行動をとることができる。 2. 対象者や臨床実習指導者と良好な人間関係を築くことができる。 3. 職業倫理を学び、対象者の方の状況に配慮した適切な基本的態度を実践できる。 4. 医療機関における視能訓練士の役割や他職種との関係を学び、理解できる。 5. 学内で学んだ視能訓練士としての基本的知識や検査・訓練手技を対象者に即して実施できる。 6. 実習した内容を適切に記録し、まとめを報告することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	実習前オリエンテーション グループワーク  各施設での検査・訓練実習<10月～1月の連続する4週間>  実習後セミナー（実習のまとめと発表）			1～6 1～6  1～6  1～6	講義および演習：学科教員 演習：学科教員  実習：臨床実習指導者  演習：学科教員
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料	実習パンフレットを配布する。				
【評価方法】 グループワーク、レポート、セミナー発表、 実習状況を総合的に評価する。			【履修上の留意点】 臨床実習 II の履修基準を確認すること。		